

10月1日

「厄年連」「年祝連」文化は奥州の宝

イベント



平成30年度奥州水沢42歳厄年連「神巳来」は、奥州市固有の文化である「厄年連」「年祝連」を紹介するウェブサイトを立ち上げ、市観光物産協会が運営する観光ウェブサイト内に開設しました。水沢・江刺・前沢の12団体が紹介されており、今後、厄年を迎える団体を追加し、観光振興につなげたい考えです。

10月4日

阿部ソシさん 100歳（胆沢若柳）

冒寿



胆沢小山で生まれ、18歳で中国に渡り満州飛行機発動機部に勤務。21歳で故・義之助さんと結婚。帰郷後は畑仕事や行商で生活を支え、2男1女をもうけました。自分の身の回りのことや家事もこなし、食事や体調管理にも気を付けるというソシさん。「みんなにかわいがってもらって幸せ」と笑顔いっぱいでした。

10月5日

親子で学ぶ森林の大切さ

イベント



今年で13回目となる親子森林体験教室（市緑化振興協議会主催）が県立緑化センターで開催されました。市内小学校の児童と保護者約60人が参加。林業体験や木工教室などを親子で楽しみました。普段の生活では接する機会の少ない山の草木に直接触れ、身近にある森林の役割について理解を深めました。

10月19日

小野キクさん 100歳（水沢字五千刈）

冒寿



金ケ崎町に7人きょうだいの末っ子として生まれ、20歳で故・寶作さんと結婚。2男2女をもうけ、孫8人、ひ孫9人に恵まれました。農業のかたわら、多い時には16人もいた家族の世話を担っていました。長寿の秘訣は常に腹八分を心掛けること。贈呈日当日は、家族からの祝福に笑顔で応えていました。

10月20日

秋色に色づく郷で楽しくラン

イベント



来年5月のいわて奥州きらめき馬拉ソンを盛り上げようと、歴史公園えさし藤原の郷で「園内を走ってみよう えさし藤原の郷 RUN ラン！ らん♪」が開催されました。大会アンバサダーの那須川瑞穂さんも応援に駆け付け、家族連れなど参加者は園内を一周する2キロのコースを楽しみました。

10月20日

白鳥館で中世の歴史を体験

イベント



白鳥館遺跡まつり（同実行委員会主催）が世界遺産登録候補地である白鳥館遺跡で開催されました。会場には、中世の衣装に身を包んだ殿様や家来が登場。地元物産などの販売、ちびっこ弓矢的当てや「えぼし」作りの体験コーナー、神楽や三味線と民謡の特別公演なども行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。

10月14日

束稲山麓地域の魅力発信で登録を後押し

イベント



世界農業遺産の登録を目指す奥州市・一関市・平泉町。この3市町の団体でつくる束稲山麓地域3市町物産販売促進委員会は、生母地区センターでの生母げんき祭りで、そばやジャガイモなど特産品を販売する交流会を初めて実施しました。今後、一関市と平泉町でも開催し、取り組みを広げていく予定です。

10月15日

損保大手2社との連携で安心・安全な地域を

市政



市は、あいおいニッセイ同和損害保険㈱、東京海上日動火災保険㈱の損害保険会社2社と地方創生に関する連携協定を締結しました。交通安全、災害・危機管理、インバウンド対策などさまざまな面で民間企業ならではの助言を受け、安心して生活できる地域づくりや地域経済の活性化を目指します。

10月18日

「おいしい食を届けたい」の思い高め

イベント



市は「おうしゅう地産地消わくわく講演会」を市役所本庁で開催しました。地産地消を推進する食農連携推進室が主催。オイシックス・ラ・大地㈱の代表取締役会長で奥州大使の藤田和芳氏が「ダイコン一本からの革命～有機農業で世界を変える～」と題して講演し、農業従事者など約250人が熱心に聞き入りました。

10月20日

元気に輝く園児たちの共演

イベント



前沢地域の3幼稚園が本年度末で閉園するため企画された「前沢ふれあいセンターで開かれました。地域内の5幼保施設の園児たちが集結し、太鼓や演舞などの伝統を元気いっぱいに披露。最後はNHK 2020応援ソング「パブリカ」を全員で踊って、最初で最後の発表会に花を添えました。

10月23日

菊池逸郎さん 100歳（江刺玉里）

冒寿



江刺藤里に生まれ、1男2女、孫9人、ひ孫11人に恵まれました。シベリア抑留から帰郷後、コメと和牛育成を営みました。若い頃は竹から尺八を作って吹いたり、民謡を歌ったりしたそうです。長生きの秘訣は、規則正しい生活と何でも食べること。贈呈式では「盛大な会を催してもらった」と感謝を伝えました。

10月26日

千葉和子さん 100歳（水沢真城）

冒寿



仙台市で生まれ、26歳で故・誠さんと結婚。1男2女をもうけ、孫5人、ひ孫2人に恵まれています。退職後、58歳から始めた日本画を今でも描き続けているという和子さん。今年の8月には水沢で個展も開いたそうです。「いつの間に百歳になったのか、今でも不思議で実感が湧かない」とにこやかに語りました。